

平成28年〇〇月〇〇日

創立70周年

学校だより

学力特集号

早鞆中学校だより

北九州市立早鞆中学校
〒801-0882 門司区清見3丁目13番1号
Tel 093-321-3788
校長 永田 和之

平成28年度 全国学力・学習状況調査の結果の報告と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」については、平成28年4月19日（火）に、3年生を対象として、「教科（国語・数学）に関する調査」と「生徒質問紙調査」を実施いたしました。

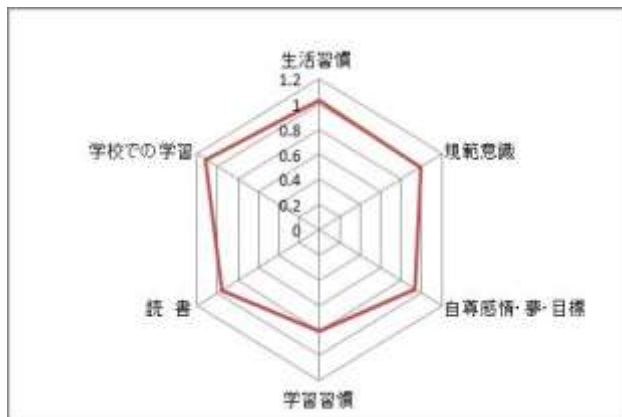
この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。

学力の定義や捉え方は様々であり、一概に論じることはできません。この学力調査もそのときの学力の一部分を表しているに過ぎませんが、この結果も客観的な指標の一つであると考えます。本校では調査結果も重視し、今後も効果的な指導や学力向上につながる教育活動が実践できるように努めてまいります。ご家庭でも家庭学習チャレンジハンドブックなどを参考にされ、お子様の学習をご支援いただけましたら幸いです。

1. 教科に関する調査結果の概要

カテゴリー	学力調査の分析(傾向や特徴)	全国平均正答率との比較
国語A	・全体的には全国平均正答率をやや下回っていたが、説明を読み、選択肢から正解を選ぶ問題についてはできていた。 ・文章を読み、与えられた条件に沿って、自分の考えを明確に書くことを習慣化する必要がある。	下回っている
国語B	・全体的には全国平均正答率を下回っていたが、選択問題の無回答率はすべて0%であった。 ・文章の展開を読み取ったり、目的に応じて明確に書いたりする問題に課題がある。	下回っている
数学A	・全国正答率を下回っており、一次関数の変域に関する問題が特に無回答率が高く、誤答も多かった。関数に苦手意識を持っている。 ・等式変形や基本的な問題についての正答率が悪い。基礎的な計算能力の向上の必要がある。	下回っている
数学B	・全国正答率を下回っており、長い文章から計算式を導き出す問題が無回答率が高く、誤答も多かった。 ・図形についての理解度がやや高い傾向にある。	下回っている

2. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する調査結果の概要



質問紙調査の結果分析

- ・家庭学習の時間が全体的に少なかった。家庭学習の指導の工夫が必要である。
- ・将来の夢や目標を持っている生徒が、減っていた。それぞれの夢を持たせるような活動に取り組んでいく必要がある。
- ・テレビ等に費やす時間が増えていた。特に4時間以上の生徒の割合が多かった。

3. 調査結果から明らかになった課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組（全校で・学年で・学級で）

- 授業では、「めあて」「まとめ」を行うことが定着してきた。今後は、「話し合う活動」や「書く活動」も積極的に取り入れていきたい。
- 朝自習や定期考査前の予想問題作成、放課後質問教室等も継続して行う。
- アシストシート、活用力をたかめるワーク等を活用していく。

② 家庭生活習慣等に関する取組

- 家庭学習が全体的に少なかったなので、家庭学習の定着を図るため、毎日の課題を行う。
- 家庭学習チャレンジハンドブックを活用していく。
- 学校だよりや学校ホームページなどを利用して、全国学力・学習状況調査の課題と取組を保護者へ周知し、家庭と連携して協力体制を整える。

